

がく じ 学 而

摂南大学図書館報

No.103 2022.3



CONTENTS

● 情報発信と図書館 図書館長 小山 昇……………	2
● 書物が描く未来の世界 理工学部 教授 岸本 直子……………	4
● 農業保険に携わって 農学部 教授 吉井 邦恒……………	6
● 教員向け学長推薦図書・ 図書館学生サポーターが薦めるこの1冊……………	8
● 教員が選ぶ推薦図書……………	9
● 枚方分館ニュース……………	10
● 図書館学生サポーター活動……………	11
● 2021年度 図書館利用者アンケート結果……………	12
● 図書館利用統計……………	14
● サービスの紹介……………	15
● 2021年度 摂大文化大賞・編集後記……………	16

漱石全集（本館所蔵）

近代日本人の精神的支柱でありつづけた
漱石の文業は、今も強く私たちにはたらき
かけてくる力を持っています。先の見えな
い閉塞感にとらわれがちな今、漱石から学
ぶべきものは決して少なくありません。
（岩波書店HP この本の内容抜粋）



情報発信と図書館

図書館長 小山 昇

日本の出版統計を見ると、出版販売額は1996年をピーク（26,564億円）に年々下降している一方で2014年から統計に取り入れられた電子出版の販売額を加えると2019年（15,432億円）、2020年（16,168億円）と少しではあるが上昇している（公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所「日本の出版販売額（出典「出版指標年報2021年版」）」<https://shuppankagaku.com/statistics/japan/>〔2022年1月31日アクセス〕）。その内訳（2020年）は、書籍（6,661億円）雑誌（5,576億円）、電子出版（3,931億円）となっていて、インターネットなどの普及から雑誌にあっては顕著に下降しており、2016年には書籍と雑誌の売上が逆転し、さらに電子コミックの市場形成が大きくなりそのシェアは8割を超えているのが現状のようである。

摂大図書館における2021年3月現在の蔵書数（概数）は544,000冊で昨年から13,000冊の増加があり、雑誌については、和雑誌・273種類、洋雑誌・191種類を購入し、それを製本した学術雑誌数（概数）は3,930種の規模となっている。その一方で、新聞記事や官報検索、法令・判例等の検索、社会科学関係、薬学・看護学・農学関係などの論文検索ができる外部データベースが40種類、電子化された学術雑誌などを閲覧できる電子ジャーナルが5プラットフォーム（約90種類）、そして学術書・専門書を中心としたデジタル書籍を閲覧できる電子ブックが5種類のサイトから利用でき、電子ジャーナルと電子ブックの検索にはポータルサイトを別途設けて利便を図っている。さらに、デジタルデータを利用する電子書籍へのアクセスは、学内のみならず外部からも必要な制限を加えて全部ではないができるようにしている。このような印刷出版物と電子データによる情報発信が本学図書館の中心となっているが、多様性と持続可能性が特に求められる現代社会において、そのような発信が求められる情報や知識に対して齟齬や乖離がないのかどうかを今一度問うべきではと考えられる。

2020年と2021年はコロナ禍による様々な規制から学内での授業も制限されたものとなり、教育施設として図書館がその機能を十分に発揮できたとはいえない状況であったと思われる。学内で授業があれば図書館に行くことができるが、それが制限されるとなると、必要になった文献などを学外から検索することはでき

ても実際に手に取って調べることができない場合も生じる。電子書籍であればその不便宜は少ないが、通信環境や使用する電子機器の扱い方によってはその活用が十分できないこともある。特に、多くの文献にアクセスできる外部のデータベースを利用する場合、その扱いは初心者には難しく、時間を多く費やしても目的の文献を探し出せないこともある。知りたいことをどのような手段で手に入れられるのか、書誌や文献情報学などの知識と理解がとりわけ必要と感じられるのである。

書物を所蔵しようとするとき、書名・タイトル、著者名、出版年、出版社、ISBN、ページ数といった本の表紙や奥付に記載されている情報（書誌）だけでなく、分類番号などの請求記号、資料番号（ID）や配架（配置）場所などの所蔵情報も必要となる。書架には分類番号ごとに配置されているが、本学図書館では米国のデューイ十進分類法（DDC）の影響を受けて作られた日本十進分類法（NDC）を採用してコンピュータによる蔵書検索では文献情報をわかりやすく明示して目的の資料を確実に手に入れられるようにしている。実際に所蔵している54万冊以上の書籍や約4,000種の雑誌に対しては、開架式を採用して稀覯本など一部を除いて自由に閲覧可能であるとともにコンピュータ検索によって簡便にアクセスできるが、これについても十進分類法についての大まかな知識があるとさらに短時間に見つけることが可能である。

わが国では明治以降、洋書も分類する必要から欧米の図書目録を参考にした図書分類が取り入れられ、1929年に青年図書館員連盟の森清（もり・きよし）によって個人の著作として発表された『日本十進分類法』（間宮商店）が、その後多くの図書館で受け入れられ今日に至っている。戦後にその著作権が日本図書館協会に移され、現在も協会の分類委員会での改訂が続いている。現在の版は2014年12月に発行された『日本十進分類法・新訂10版』であるが、もり・きよし原編・日本図書館協会分類委員会改訂、と原著者としてその名は明記されているのである。NDCは、0から9までの数字を使って左端の第1次区分表の数字で大きく10の内容に分類し、左から2番目の数字で細かい10の内容（第2次区分表）そして3番目の数字でさらに細かい10の内容（第3次区分表）に、大から小の順に3桁の数字で1,000に区分して分類

することを基本としている。0の総記、1の哲学から、8の言語そして9の文学に至る大きな分類から、第2次区分表では、01図書館、11哲学各論、81日本語、91日本文学、99その他の諸言語文学、第3次区分表では、011図書館政策、101哲学理論、801言語学、901文学理論などと分類されている。例えば、法律は320に分類されて民法ならば324になるが、さらに家族法になると324.6とピリオドをつけて補助の数字も付加されている。この場合、分類番号であるので小数点のある数値の読み方とはならないことに注意すべきである。

NDCはよく考えられた分類法であるが、第2次区分表では第1次区分表に対応する10の内容に分類できない区分もあり、4の自然科学の第2次区分表では、41数学、42物理学、43化学などと続いて、46生物学の次に、47植物学と48動物学そして49医学・薬学と分類されている。医学や薬学は自然科学に限定できるものではなく、生物学と動物学などが同じレベルになっていることは分類の難しさを示している。また、ネットワークなどの電気通信関係は547に分類されるが、情報科学は0総記に分類され007となっている。このことから、例えば「インターネットと法」のような書物は007に分類されるので、54電気工学や32法律とは違った別の書架に配置されることになり戸惑うことも生じる。大分類から小分類への構造からするとやむを得ないが、場合によっては配架を工夫する必要もある。

大学図書館は、教育研究に必要な資料を提供する中心的な施設であることからすると、図書や学術雑誌などの資料を系統的に備えてそれを充実させていくことはもちろんであるが、その資料を如何に提供できるかが重要である。書架に配置される書籍であれば、請求記号に記載される分類番号を目印に図書館の館内マップを参考にして配架場所を見つけることができるが、その場合も分類法の特徴を意識しておく必要がある。また、電子書籍にあっては、外部データベース、電子ジャーナル・ブックの検索方法がある程度学んでからでないと迷って諦めてしまうこともあり、特に外国のデータベースにアクセスしての文献探索では、そのデータベースの構造などの特徴を予め知っておく必要がある。データベースが対象としている特定の学問分野だけでなく情報学特有の知識も求められることになる。図書館が多くの文献を所蔵するために分類法に基づくことは必然であって、様々な学問分野を横断する形で図書館学と情報学が融合された「図書館情報学」が求められることに繋がっているのである。

図書館からの情報発信は、学生・院生や研究者を

はじめ教育研究に関わるすべての人に向けられたものであるが、それが正確にかつ確実に届くことが当然のことであってそれには図書館スタッフの力を欠かすことができない。コロナ禍によって非接触型の対応が多くの方で求められる状況にあるが、このような時期にこそ図書館の利用者と図書館スタッフとのコミュニケーションの強化が必要ではないだろうか。毎年実施している図書館利用者アンケートに寄せられた意見では、感染対策による利用制限はやむを得ない措置であると容認されるものの、一度手にした本をそのまま戻せないことや閲覧席の制限といった不便さを指摘される一方で、このような時期であるが故に、普段以上に図書館の存在が必要だと思えます、という意見も寄せられ、さらなる図書館の利用を希望されていることも明らかである。蔵書についても、大学の図書館として本数が少ない、電子書籍をもっと増やしてほしい、国内外の学術雑誌を充実させてほしい、という意見もあれば、電子ブックが使いにくかったなど、オンラインの活用に苦言を呈される意見も頂戴している。

そして図書館スタッフからは、「企画展示」として本館・分館それぞれで様々なテーマの本を紹介展示すると同時に、図書館ポータルでも本の画像を使った本棚を用意して多様な興味を刺激する情報の発信が続けている。また、文献所在調査・事項調査・利用指導などのレファレンス業務について、コロナ禍以前の2019年度までは本館で年間約3,500件、分館では約1,000件であったが、2020年度は、分館のほぼ横ばいに対し本館は30%程度に減少し、2021年度は12月までの集計では、本館は前年の240%分館は86%になっている。以前の水準までの回復ではないが、学内授業に戻って利用者数が多くなっていることに比例していると考えられる。

このような利用者との接点であるレファレンスは図書館からの様々な情報を発信できる機会を与えるものであって、非接触の方法への拡大を含めて更なる展開が望まれるものである。オンラインの環境が整備された現在においてもグランドでの人と人の接触は重要であって、そのコミュニケーションから得られるものの価値を評価すべきである。デジタル図書館と従来からの図書館の融合にも人間力が不可欠であって、利用者アンケートで評価が高い図書館スタッフの専門知識と力が今以上に求められる。図書館からの積極的に持続性のある情報発信の実現に躊躇することは許されないと思われるのである。



書物が描く未来の世界

理工学部 教授 岸本 直子

専門が宇宙工学の筆者は、まさしく『機動戦士ガンダム』（1979年4月～1980年1月TV放映）世代である。そこに描かれたジェラード・K・オニールのスペースコロニーやミノフスキー粒子、マグネティックコーティングは、フィクションながらそれまでのアニメと違って科学的かつ現実的で興味深かった。カール・セーガンの『コスモス(COSMOS)』（1980年TV放映）との相乗効果で、一気に宇宙科学や宇宙工学への憧憬が深くなっていった。加えて、世界初の人工衛星となるスプートニク1号打ち上げ（1957年）や、アポロ11号による人類初の月面着陸（1969年）の前後、宇宙開発が進む未来の世界を描いたSF小説が多数発表され、SF界の御三家、アイザック・アシモフ、アーサー・C・クラーク、ロバート・A・ハインラインが活躍していた。アシモフは「ロボット三原則^{※1}」の提唱、クラークは、現代社会で不可欠なインフラとなっているGPSの原案（静止衛星による通信ネットワーク）提案、ハインラインは2021年6月公開の日本映画『夏への扉 キミのいる未来へ』の原作者として知られる。

未来の世界を描いたアシモフの代表作には、宇宙移民の子孫である宇宙人スパーサーによって鋼鉄のドーム都市に閉じ込められた地球人を描いた『鋼鉄都市』（1953年、ハヤカワ文庫（福島正実訳））^{※2}、クラークの代表作には、太陽光子圧で加速する宇宙ヨット（ソーラー・セイル）を扱った『太陽からの風』（1972年、ハヤカワ文庫（山高昭、伊藤典夫訳））、ハインラインの代表作には、月が独立して地球に対して反乱を起こす『月は無慈悲な夜の女王』（1965年、ハヤカワ文庫（矢野徹訳））があり、いずれも宇宙を舞台とした未来の世界が描かれている。現実には、2010年に日本が世界に先駆けてソーラー・セイルの光子圧による加速を軌道上実証し、日本も参加を表明している米国主導のアルテミス計画では、月を周回する宇宙ステーションであるゲートウェイから早ければ2024年にも月面に人を着陸させ、月面基地を建設する。最初のミッションであるアルテミスIの打ち上げは2022年4月に予定されており、宇宙開拓時代がようやく始まろうとしている。

こうした宇宙を舞台とした未来の世界だけではなく、地球上の未来の世界も数多く描かれている。なんといっても理想郷を意味するユートピアの由来となった私有財産をもたず格差のない理想社会を描いたトマ

ス・モア『ユートピア』（1516年、岩波文庫（平井正穂訳））が有名である。しかし、人類が2種類に分化して対立する社会を描いたH・G・ウェルズ『タイムマシン』（1895年、光文社古典新訳文庫（池央耿訳））、書物の所有が禁じられた世界を描いたレイ・ブラッドベリ『華氏451度』（1953年、ハヤカワ文庫（伊藤典夫訳））、架空の第3次世界大戦後の監視社会を描いたジョージ・オーウェル『1984』（1949年、ハヤカワepi文庫（高橋和久訳））、など、ディストピアと呼ばれる抑圧的で恐怖に満ちた絶望的な社会を描いた書物の方が多いように思う。架空の第3次世界大戦後といえば、火星から地球に逃亡してきたアンドロイド（レプリカント）を始末する賞金稼ぎを描いたフィリップ・K・ディック『アンドロイドは電気羊の夢を見るか?』（1968年、ハヤカワ文庫（浅倉久志訳））は、ハリソン・フォード主演、リドリー・スコット監督で1982年に映画化され、環境汚染が進む退廃的で暗い未来都市の映像が印象的であった。同じく第3次世界大戦後の退廃的な未来都市の映像には、大友克洋原作・脚本・監督の『AKIRA』（1988年公開）がある。1982年に関東地方上空で炸裂した新型爆弾のために東京が壊滅し、その後勃発した第3次世界大戦後2019年の世界を描いた作品で、翌2020年の「復興」東京オリンピックが予定されていたことで話題となった。

モアが描いた理想的なユートピア、抑圧や恐怖、格差による対立が支配するディストピア、どちらかというディストピア寄りの退廃的で暗い世界のいずれも実現しても長続きするとは思えない。なぜならそのような社会では人々の不安や不満がいずれ爆発してしまうからである。その点、筆者が一番実現しそうだと感じる未来の世界は、一般にはディストピア小説に分類されているオルダス・ハクスレイ『すばらしい新世界』（1932年、光文社古典新訳文庫（黒原敏行訳））である。副作用のない麻薬ソーマとボカノフスキー法の発明により、苦痛や不快感と生殖から解放された人々は、工場で4つの階級に分類されて生産され、「自分が所属する階級が最も幸せ」だと条件教育されて成長する。少しでも不安や苦痛を感じたらソーマを飲み、消費や快楽が推奨され失業もない。描かれた世界は情報統制された完全な階級社会であるが、人々は不安や不満をもたず体制への疑問を抱くことがない。満

員電車の中ですぐにスマホを取り出す人を見ていると、ある意味ソーマや条件教育だな、と思うことがある。もっとも作品中では、主人公がこうした社会に疑問を抱いて行動に出るのであるが。

ここまで、海外の作家の作品を取り上げてきたが、未来の世界を描いた日本の作品を紹介する。映画やTV番組として何度も公開されている『日本沈没』の原作者として知られる小松左京の『復活の日』（1964年、角川文庫）は、1980年に映画化されたが、コロナ感染症を彷彿とさせる伝染病の流行で人類が滅亡の危機に陥り、南極にいて生き残った人々の苦難を描く。軽妙なショートショートで有名な星新一の『白い服の男』（1968年SFマガジン連載開始、新潮文庫）では、二度と戦争をおこさないため戦争を想起させるあらゆるものを禁止する“平和な”恐怖社会を描く。東日本大震災の15年前に発表された篠田節子の『静かな黄昏の国』（1996年ミステリマガジン掲載、角川文庫）では、経済が破綻、凋落した未来の日本で東北の核廃棄物貯蔵施設を姥捨て山にする。環境破壊で農業もできず、食料を輸入する経済力もない未来の日本では、一般庶民は安価な合成食材しか口にできず、放射能に汚染された施設内でだけ手つかずの自然や新鮮な食材を手にする、という設定が妙に現実的である。現在開発が進む代替肉や培養肉の先に合成食材が重なって見える。

最後に、いま仮想世界メタバースが話題になっているが、こうした仮想世界を扱った書物として、『マトリックス』（1999年公開）より30年以上も前に発表された光瀬龍『百億の昼と千億の夜』（1967年、ハヤカワ文庫）を紹介する。時空を超えて旅する主人公たちは、ある星に到着するが、そこはまさにバーチャルな仮想世界が主であり、生身の人であるA級市民は各自に割り当てられた睡眠槽（コンパートメント）で生命維持のためのチューブにつながれて共有夢を見続けている。夢を見ることができないロボット（B級市民）は、コンパートメントを、A級市民が独占している理想的な住居だと思い込んでいる。この本が取り扱うテーマは壮大で、宇宙は完全な熱量ゼロの終末に向かっているが、その宇宙は外に広がる世界のほんの一部でしかない。この本は、萩尾望都によって秋田書店から漫画化されているので、興味のある方には一読をお勧めする。

注1） ロボット三原則：ロボットが従うべき「人間への安全性」、「命令への服従」、「自己防衛」の3つの原則。

注2） 書名のあとには、原作の初版出版年あるいは雑誌への初掲載年と摂南大学図書館の蔵書検索で見つかる本の出版社と海外作品については訳者を記載した。



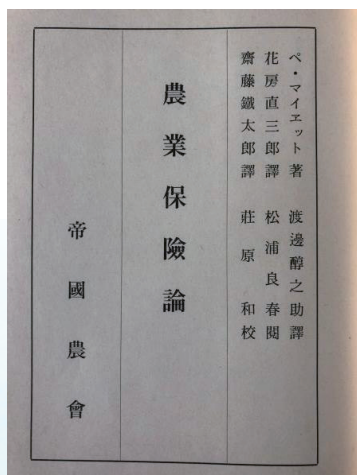


農業保険に携わって

農学部 教授 吉井 邦恒

図書館での思い出

農業保険に携わって30年余りになります。前職の農林水産省で、農業保険を担当する部署である保険管理課（当時）の総括課長補佐を拝命したのは1991年1月でした。当時の農業保険は、農業災害補償法に基づく農業共済事業として実施されていました。農業災害補償法とそれに基づく政省令・告示・通達を解釈・運用する立場でしたので、省内の図書館に通い、1947年の農業災害補償法制定当時をはじめ、幾度となく行われた法律改正時の国会議事録に目を通し、法律の各条文がどのような趣旨で作り上げられてきたのかについての理解に努めました。深夜零時をかなり回らないと帰宅できない毎日でしたが、時に居眠りをしながらも、図書館で過ごす時間は息抜きのひとときでした。



日本の農業保険制度の父と称されるパウル・マイエットの『農業保険論』（明治19年公表。写真は『農業共済保険文庫1』に収録された昭和15年刊行のもの）

その後、政策研究を行うこととなり、農林水産省農林水産政策研究所（政策研。当時は農業総合研究所）に異動しました。政策研には、農業関係の蔵書20万冊余（2020年度末）を有し、漢籍や「エイメリー文庫」等の貴重書を蒐集した図書館があります。政策研の図書館では、主に1950年代の農業保険をめぐる深く熱い議論が戦わされていた頃の文献を渉猟しました。当時の図書は貸出用カードで管理されていたので、そこに大先輩の行政官や研究者の名前を見つけることができました。現在でも政策研の図書館を訪問することがありますが、部外秘のお宝文献を見つけるなどの発見があります。



本草学の古典である『大観本草』（農林水産省農林水産政策研究所提供）

農業保険について

農業保険は、世界の100か国以上の国々で実施されていますが、一般にはあまり知られていない仕組みです。この機会に、日本の農業保険について、簡単に紹介しておきたいと思います。

農業は、他産業と比べて、自然条件の影響を受けて品質や収穫量が大きく変動しやすいこと、農産物需要の価格弾力性が小さいこと等の特殊性を有しており、農業者は自らの経営努力では十分に克服することができない収量リスク、価格リスク及びその両方による農業収入の減少リスクに直面しています。このため、前述のとおり、日本では、1947年に自然災害等による収穫量の減少を補てんする農業共済事業が創設されました。

農業共済事業は、農業共済組合（農業協同組合であるJAとは異なる組織）が実施しています。表に示すとおり、水稻、麦、大豆、ばれいしょ、果樹等の作物のほか、牛、豚等の家畜や温室が保証対象となっています。

事業種類	対象品目等
農作物共済	水稻、陸稲、麦
家畜共済	牛、豚、馬
果樹共済	うんしゅうみかん、りんご、なし、ぶどう、うめ、もも、かき、おうとう、いよかん、キウイフルーツ、なつみかん、すもも、くり、びわ、パインアップル、指定かんきつ
畑作物共済	てん菜、大豆、ばれいしょ、たまねぎ、さとうきび、小豆、そば、いんげん、かぼちゃ、スイートコーン、茶、ホップ、蚕繭
園芸施設共済	特定園芸施設（ビニールハウス等）

農業共済事業の保証対象品目

農業者は、共済掛金（保険料）を支払い、自然災害等によって、収穫量が基準収穫量よりも一定割合以上減少したときに共済金（保険金）を受け取ることができます。家畜については、死亡に対する共済金のほか、病傷に対する診療費が支払われます。農業者が負担すべき共済掛金のうち 5 割を国が補助しています。

品目別の加入率は、図 1 のとおり、水稻や麦、乳用牛、肉用牛で高くなっていますが、肉豚や果樹の加入率は低い水準にとどまっています。

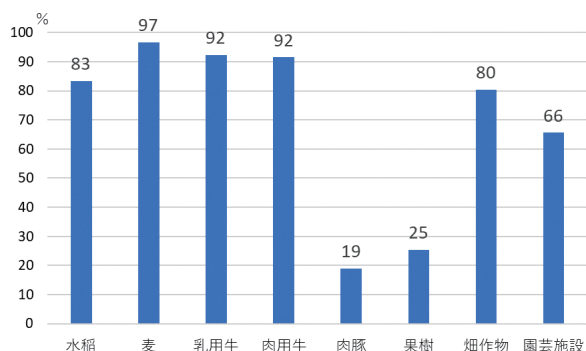


図 1 農業共済事業の主な品目の加入率（2020 年）

共済金の支払実績は、図 2 に示すように、毎年 1000 億円程度となっていますが、冷害の年には非常に多額の共済金が支払われます。特に、1993 年は、北海道・東北を中心とした未曾有の大冷害のため水稻の作況指数が 74 にまで低下し、タイ等から米を緊急輸入した年で、5000 億円を超える共済金が支払われました。最近では、豪雨や台風による被害は発生していますが、共済金の支払額が大きく増加することがない状況が続いています。

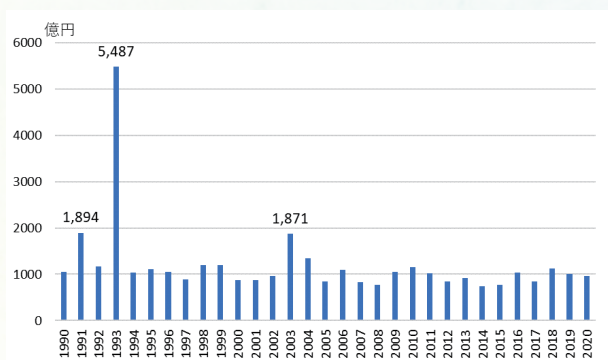


図 2 農業共済事業の共済金の推移

長らく収量リスクに対応する農業共済事業のみの実施でしたが、2019 年からは、自然災害等による収量減少だけでなく、価格低下を含めた農業収入の減少を保証対象とする収入保険が実施されています。

収入保険は、農業所得の確定申告書（青色申告書）に基づき、原則過去 5 年間の平均農業収入を基準収入

として、農業収入が基準収入の一定割合を超えて減少した年に保険金を支払う仕組みです。農業者が支払う保険料に対しては、農業共済事業と同様に国が補助を行っています。

収入保険に加入していると、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の影響によって、販売収入が減少した場合や労働力を確保することができずに計画していた農作物の栽培を中止せざるを得なくなった場合にも、保険金が支払われます。

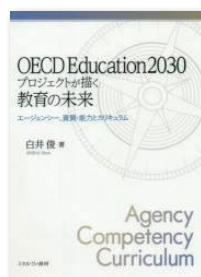
実は、農業保険の「研究」に携わるきっかけは、1991 年に世界で初めてカナダで実施された収入保険制度でした。その後アメリカでも 1996 年から収入保険が実施されており、収入保険を含む農業保険はアメリカの農業政策の最も重要な柱として機能しています。日本における収入保険導入のため、海外の制度を研究してきましたので、収入保険が実施されることになったときには、感慨ひとしおのものがありません。現在の収入保険の加入率は、青色申告者の 17% 程度ですので、今後の加入増加を大いに期待しているところです。



教員向け学長推薦図書

この度、荻田学長による教職員向け選書をいただき、専用のブースを設けて配架しています。寝屋川本館、枚方分館それぞれ同じラインナップを揃えております。荻田学長が推進するアクティブラーニング型学修の拡充等のために、これらの図書資料をお役立て活用ください。

図書の内容は図書館ポータルサイトに掲載しています。



図書館学生サポーターが薦めるこの1冊

「天久鷹夫の推理カルテ」

知念実希人[著]
新潮文庫(新潮社) 2014年



「天久鷹夫の推理カルテ」という小説は2020年に実写映画化された「仮面病棟」で有名な知念実希人の短編集です。天久鷹夫という頭脳明晰、博覧強記の天才女医が病名を診断しながら事件を解き明かすという新感覚医療ミステリーです。医療の知識が皆無の私でもスラスラと読めるほど分かりやすい文章に加え、短編集なので非常に読みやすく小説が苦手という方も読みやすいと思います。またコミックにもなっているので興味のある方は是非読んでみてください!!

経営学部経営情報学科2年次 兼西 郁歩

「クトゥルーの呼び声」

H・P・ラヴクラフト[著] 森瀬繚[訳]
星海社Fictions(星海社) 2017年



皆さんはこの宇宙の上位生物は何か考えたことはありますか。この本は人の無力さと恐怖を表した架空神話です。怪奇小説家のH・P・ラヴクラフトと作家達から生まれた神々が登場する架空の神話体系が「クトゥルー神話」です。内容や舞台は海や山等の多岐にわたり、完結する話が大半ですが、この神話の共通点は理解しえない存在と狂気といえるでしょう。今回私が紹介するこの『クトゥルーの呼び声』は「クトゥルー神話」の原点の『ダゴン』や、海底に存在する神等の海を中心とした恐怖が完全新訳、収録されており、知らない文化や宗教、思考にも出会うでしょう。この本を読み、続編にも興味を持って頂けると幸いです。

理工学部生命科学科1年次 向山 佳那

「嫌われる勇気 自己啓発の源流「アドラー」の教え」

岸見一郎、古賀史健[著]
ダイヤモンド社 2013年



多くの人が抱える悩みに対して、アドラー心理学を修得している「哲人」と哲人の元へやってきた「青年」がどう解決できるかを議論していくという内容で、鋭い意見で青年は哲人に反論していくのですが、哲人は的確な理由と共にまた論を投げかける、という繰り返りでテンポよく話は進んでいきます。取り上げられている悩みは誰もが一度は悩んだことのあるものばかりだと思うので、悩みを抱えていたり、自分の生き方に疲れていたりする方にはお勧めしたい本です。

理工学部住環境デザイン学科3年次 溝畠 ひより

「旅猫リポート」

有川浩[著]
文藝春秋 2012年



この本は、猫と飼い主の青年が次の飼い主を探しに旅に出る話です。映画化もされたことがあるので知っている人も多いかもしれません。猫の視点から飼い主の青年のことや人間のことが描かれていて新鮮で面白いです。旅に出た理由なども猫の視点で描かれているので最初はまったくわかりませんが、旅をしていく中で徐々にわかっていきます。その理由がはっきりと分かったときにポロリと涙が出てくるような物語です。ぜひ読んでみてください。

理工学部建築学科3年次 森藤 優

「察しない男 説明しない女」

五百田達成[著]
Discover(ディスカヴァー・トゥエンティワン) 2014年



鈍感・理屈っぽい・縦の関係が大好き・プライドが高いといった男への偏見。よく気がまわらな・感情的・感覚的・感じ取って欲しがりとといった女への偏見。どうしてこのような偏見に違いが生まれるのかを、解説してくれる教科書のようなものです。この時代、男女で尊重し合うことが理想とされていますが、お互いに理解し合うことが1番の近道なのではないでしょうか。読むだけでストレスが減ります。

法学部法律学科2年次 巽 悠介

「スマホ脳」

アンデシュ・ハンセン[著] 久山葉子[訳]
新潮新書(新潮社) 2020年



今や私たちの生活の中で必要不可欠なアイテムとなったスマホですが、僕はスマホによって集中力、記憶力が低下したと実感することが本当に多くありました。特に最近は、コロナ禍により、よりリアルな世界ではなくデジタルの世界に時間を使うことが増えたと思います。人間の精神は「睡眠」、「運動」、「他者との関わり」によって不調から守られていますが、デジタル化によって睡眠時間は削られ質は落ち、運動の頻度は減り、他者との関わりもリアルからデジタルにものすごいスピードで移行しています。スマホの魔力、その影響力について様々なデータを用いて解説しているのですが、最も驚いたのはスマホを使っていなくても…

続きが気になる方はぜひ読んでみてください!!

法学部法律学科2年次 渡辺 修司

教員が選ぶ 推薦図書

先生方に「学生時代に読んで欲しい本」をテーマに推薦図書を紹介していただきました。

『第五脳釘怪談』

朱雀門出[著]
竹書房怪談文庫(竹書房) 2020年



季節外れの怪談集です。といっても、怖い話というよりは奇妙な話ばかりで、後々まで尾を引くようなことはありません(たぶん…)

何で怪談?と問われそうですが、本を読む習慣が無い大学生にお薦めです。1話が数ページの短編集(60話)なので、通学の時などに気軽に読めます。著者は某大学の教員で、生命科学の研究者です(念のため、摂南大生命科学科ではありません)。なので、大学キャンパスや研究室でのごとく、大学生の体験、学会での不思議な出来事なども含まれています。今流行りの呪術廻戦のように、呪いが人の形をしているのを見た話もあります。昼間は研究室での実験、そして夜は…などと無責任な想像をしながら読んでみては?

理工学部 教授 西矢 芳昭

『手仕事の日本』

柳宗悦[著]
岩波文庫(岩波書店) 1985年



「民藝」という思想が生まれて約100年が経ったと言われます。本書は、その「民藝」思想の創始者である柳宗悦の格好の入門書で、日本各地の美しい手仕事の数々が紹介されています。現代は機械によってつくられた安価な工業品が出回り、本来は民衆のために存在したはずの手仕事の品々はやや高価に感じてしまいますが、職人さんや民藝店のおかげで私たちは今でも民藝を手にすることができます。

100円ショップなどでいずれ捨てるものをいくつも買うより、いっそのこと世界に一つしかない手仕事の工芸品を手にして生涯大事にしてみてもいいかもしれません。

外国語学部 講師 古矢 篤史

『1984年』

ジョージ・オーウェル[著] 新庄哲夫[訳]
ハヤカワ文庫(早川書房) 1972年



1949年に発表された。仮想の全体主義国家オセアニアを舞台とした近未来風刺小説である(近未来と言っても、1984年からすでに40年近く経過している。北斗の拳ではないが、時間の経過が小説を追い抜いてしまっている)。その国は歴史の改竄、国民の洗脳、反体制的思想の監視される体制。私は題名に合わせ1984年にこの本を読んだ時は、ソ連(ベレストロイカを経て1991年に崩壊)を重ねてこの本を読んだ記憶がある。しかし、文書改竄、データ偽装、議会の監視などが日常化し、さらに恐ろしいことに監視国家でもないのに、そのような体制が平気で受け入れている現在。権利軽視、差別的な言論が抵抗なく垂れ流される恐怖はある意味で小説を上回っている。「戦争は平和なり、自由は隷従なり、無知は力なり」のスローガンのアイロニーはリアルすぎる。

私は題名に合わせ1984年にこの本を読んだ時は、ソ連(ベレストロイカを経て1991年に崩壊)を重ねてこの本を読んだ記憶がある。しかし、文書改竄、データ偽装、議会の監視などが日常化し、さらに恐ろしいことに監視国家でもないのに、そのような体制が平気で受け入れている現在。権利軽視、差別的な言論が抵抗なく垂れ流される恐怖はある意味で小説を上回っている。「戦争は平和なり、自由は隷従なり、無知は力なり」のスローガンのアイロニーはリアルすぎる。

経営学部 准教授 杉本 篤信

『読書大全：世界のビジネスリーダーが読んでいる経済・哲学・歴史・科学200冊』

堀内勉[著]
日経BP 2021年



この本はただのブックガイドではありません。200冊の本についてわかりやすく説明されているだけでなく、学問体系の構造、相互の関係、分化のプロセスがうまくまとめられています。基本的な内容を重視していて、第一部「人類の知の進化」で丁寧に解説しています。

また、経済、経営の分野だけでなく、歴史、科学、宗教、更には哲学についても解説されています。その上、本文中に様々な書籍の引用があって、それが引用であることが明示され、著者や出典も明記されています。

この本は、学生の皆さんが生きるための羅針盤となる本です。

薬学部 教授 大塚 正人

『倒産法入門：再生への扉』

伊藤眞[著]
岩波新書(岩波書店) 2021年



コロナ禍のもと、その多発が注視された倒産。これを規律するのが、破産法、民事再生法、会社更生法及び会社法(特別清算)の、いわゆる倒産四法です。

本書は、民事訴訟法・倒産処理法研究の第一人者で、推薦者とも数十年来の交流がある筆者が、「法律学専攻以外の学生諸君や法律家でない社会人の方々を读者として想定」(はしがき)し、新書形式で倒産制度を平易に解説したユニークな本です。法学部生に限らず、この本を読んで、倒産に対する法制度の基本を社会常識として理解してください。

法学部 教授 田中 敦

『賢く生きるより辛抱強いバカになれ』

稲盛和夫、山中伸弥[著]
朝日文庫(朝日新聞出版) 2017年



京セラ、KDDIの創業、JALの再建などで「経営の神様」と言われた稲盛和夫氏とIPS細胞でノーベル賞を受賞した山中伸也氏の対談。

稲盛氏は、中学・大学受験の失敗、大病、就職の失敗、社員全員離職した一人になった会社生活、山中氏も臨床医として挫折、研究を諦める決意をするなど様々な苦労と挫折を味わいながら、それぞれ「地道な努力を積み重ねること」「ビジョンをもって一生懸命働くこと」を大切に成功されてきた軌跡と、高い目標を持つことの重要性やリーダーとして部下への接し方が説明されています。社会人になるまでに是非一読されることをお勧めします。

経済学部 准教授 名方 佳寿子

『華竜の宮』(上・下)

上田早夕里[著]
ハヤカワ文庫(早川書房) 2012年



大規模地殻変動と海底隆起により海面が260メートル上昇し、陸地の大半が水没した25世紀を舞台としたSFです。

残された人類は、海上都市に暮らし、人工知性体を利用した高度な文明で優位にたつ陸上民と、遺伝子操作によりかつてとは異なる生態(「魚舟(うおふね)」と呼ばれる巨魚を居住区とし、魚の体内で暮らす)で海洋生活に適応した海上民に分化しています。主人公はアジア海域における二つの民の共生を目指す外交官で、人と他生物の共存、組織同士の対立や相容れない価値観の確執、奇病の発生、さらなる絶望的な環境激変の予兆に奮闘します。

社大で秀逸な世界観と匠の展開がおすめの長編です。

看護学部 准教授 佐久間 夕美子

『月と六ペンス』

モーム[著] 土屋政雄[訳]
光文社古典新訳文庫(光文社) 2008年



何の変哲もない40過ぎの男がある日突然妻子を捨てて出奔、行方知れずとなる。パリで貧窮の中画家として暮らす姿を発見され帰還を促されるも肯ぜず。自らの才能を見込み、世話を焼いてきた芸術家仲間の妻を奪取り自死に追い込んだ末、再び姿をくらまし、南洋の島タヒチで創作を続けながら重病に侵されその地で生涯を閉じる。皆様はこの男の生涯を見習え、というのではない。世渡り指南本、成功者の体験本から得るものもあるかもしれない。しかし、大衆小説的な読みやすさを持ち、人間の内面に潜む、矛盾、葛藤、錯綜について考えさせるという点で本書を皆様にお勧めしたい。

農学部 准教授 増田 太郎

『虹色のチョーク：働く幸せを実現した町工場の奇跡』

小松成美[著]
幻冬舎 2017年

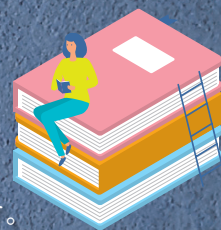


「あなたにとって、働くことの意味は何ですか?」「幸せって、何でしょうか?」これらの問いに、みなさんはどのように答えますか?この本で取り上げられている日本理化学工業は、社員の約7割が知的障害者という企業です。しかし、長い間、業界トップのシェアを達成しています。そして、「日本でもいちばん大切にしたい会社」としても知られています。

本書には、知的障害がありながらも喜びや誇りを持ち、仕事に向き合う方々の姿が記されています。「働くこと」や「幸せ」について考えてみませんか?

教職支援センター 講師 谷口 雄一

枚方分館 ニュース

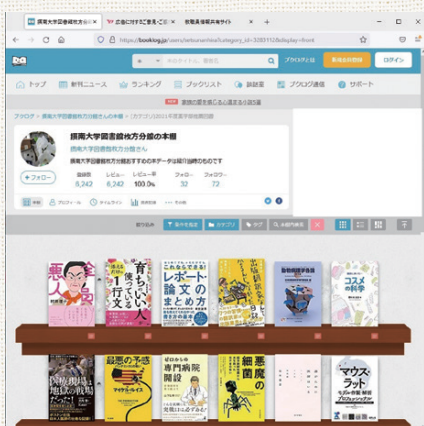


枚方分館は、薬学・看護学・農学に関する専門図書を中心に揃え、学生の学修を支援しています。
『ブクログ』『テーマ別特集展示』『読書ラリー YOMOCA』『選書フェア』などを管理・運営しています。

ブクログ

本の感想や評価をチェックしたり、本棚を簡単に作成して感想やレビューを書いたりできるインターネットで利用できるサービスです。自宅からも参照できるので活用してください。

分館では、『テーマ別特集展示』で展示した図書の本棚を掲載しています。教員に推薦いただいた『推薦図書』には推薦文章も添付しています。学生みなさん、推薦文を読み、気に入った本を図書館に借りに来て下さい。



摂南大学図書館枚方分館のブクログ：



テーマ別 特集展示

学生が興味を示しそうな話題や定番のテーマに関する図書を、期間を定めて展示しています。

今年度は、学長が推薦された『学長推薦図書』をはじめ、『手話を知る』『発酵食品って??』など学生・教員の興味のあるような話題をテーマに展示しました。

なお、定番のテーマとして『摂大文化大賞』『選書フェア』『ノーベル賞』『SDGs』『本屋大賞』などがあります。



- | | | | |
|----|---------------------------|-----|-----------------|
| 4月 | 手話を知る | 10月 | お礼になった人々 |
| 5月 | 本屋大賞 2021 | 11月 | 科学捜査 |
| 6月 | サバイバル | 12月 | 発酵食品って?? |
| 6月 | 涼を求めて | 12月 | ノーベル賞 |
| 7月 | オリンピック | 2月 | 2021 推薦図書 (後期分) |
| 7月 | 摂大文化大賞にむけて | 3月 | 映画 |
| 8月 | 選書フェア 2021 | 通年 | SDGs |
| 9月 | AI 時代を生きる
— 私たちのこれから — | 通年 | 学長推薦図書 |

読書ラリー YOMOCA (ヨモカ)

2014年度にスタートして今年で9年目となります。

参加者にはポイントカードを配付し、本を期限内に返却、ブックレビュー(書評)提出などのいくつかのミッションを遂行する毎にポイントカードにスタンプを押し、スタンプが全部貯まるとYOMOCAオリジナルグッズ(写真)と引き換えます。

学生みなさん、参加してたくさんの本を読んで読書習慣を身に付けて下さい。



選書フェア

薬学、看護学、農学を中心にした学術書を図書館分館のカウンター前に展示して選書フェアを実施しました。分館では年に1度、7月に実施し、来館した学生や教員に実際の本を手にとって選書していただきました。8月の特集展示において選書フェアで購入した本を、報告を兼ねて展示しました。



図書館学生サポーター活動



図書館では、本や読書が好きな学生たちが「図書館学生サポーター」として活動しています。

2021年度の活動は、「ビブリオバトルオンライン大会」出場、「マイ・フェイバリット・ブックス」開催、図書館員との協働企画「本おみくじ」の継続実施でした。

このページではその活動内容や、サポーターから寄せられた情報をお届けします。



ビブリオバトル 2021

「ビブリオバトル・オンライン大会に参加して」

理工学部建築学科 3年次

森藤 優

私は、1年の時にコロナ禍前の通常開催に参加して以来、2回目の挑戦でした。

オンラインでの大会には初めて参加するということもあって、通信環境などの心配もしていましたが、やってみれば意外と目の前に人がおらず、自分の慣れた自宅という環境で行えたことで前回よりも緊張せずに発表できたと思います。ただ、オンラインでの開催より通常の対面での開催のほうが盛り上がるなと感じました。

去年は、準備がしっかりとできないと感じたため出場はしませんでした。今年は開催を早い段階から知ることができたので、また挑戦してみました。しかし、1年の時よりも勉強面や就職活動の準備など忙しくなって、今年度は本をあまり読んでいなかったのだと本で挑戦するかということに一番悩みました。前回は自分の経験を織り交ぜながら話すことができる本を選んだため、5分という時間を話しやすかったのですが、それほど経験が豊富ではないので、無難に自分の思い入れが強く話しやすい本を選びました。そうしたら今度は話したいことがたくさんあって、どこについて話すのかということに悩みました。私は、ネタバレをせずに本について話したほうが本の内容について興味を持ってもらえ、読みたいと思ってもらえるのではないかと考えているので、その点も話す内容を決めるときに難しいと思いました。

今回もまた、予選会を通過することはできず、本選に進むことはできませんでした。参加するたびに、他の出場者の発表を聞いてこんな本があるのかと思い、自分がなかなか手を出さないような本を読んでいる人もいて、読む本の幅を広げたいなと感じます。話し方や話の展開の仕方についても「自分には向いていない」と思いつつも勉強になります。次回、参加できれば自分なりにアレンジをしつつ取り入れ、もっと上位の大会に駒を進められるようにしたいです。



紹介した本 …… 「東京バンドワゴン」小路幸也(著) 集英社(集英社文庫) 2008

マイ・フェイバリット・ブックス

図書館学生サポーターが主催する「マイ・フェイバリット・ブックス」とは、参加者が本を中心に語り合い、思いを共有するイベントです。12月20日(月)、寝屋川本館ラーニング・commonsにて開催しました。



当日はサポーターを含め学生6名の参加があり、うち2名が感動や影響を受けた本を紹介。その内容や思い入れを熱く語りました。参加者は紹介された本についての質問や感想を述べ、さらには読書についてまで自由な発言に発展しました。

また荻田学長飛び入り参加のサプライズもあり、本にまつわるエピソードなど有意義なお話を伺うことができました。

紹介した本 …… 「獣の奏者」上橋菜穂子(著) 講談社(講談社文庫) 2009
「正しいプスのほめ方」トキオ・ナレッジ(著) 宝島社 2013



本おみくじ

何か本を読みたいけど何を读もうか迷った時は、運にまかせて本を選んでみませんか？

というコンセプトで、寝屋川本館では、図書館学生サポーターと図書館スタッフ協働企画「本おみくじ」を実施しました。

「おみくじ」を引いて、書かれた番号の本をカウンターに持ってきて借りることになります。

どんな本が入っているかは開けてみるまでのお楽しみ！
素敵な本と出会えるかも！



2021年度 図書館利用者アンケート結果



図書館では、皆様の利用状況やご意見・ご要望などお伺いし、図書館サービスの向上および図書館の利用環境改善の参考資料とするため、毎年同じ時期に利用者アンケートを実施しています。

2021年度は、11月1日(月)から12月10日(金)までの間、Microsoft Formsを用いたWeb回答と図書館内でのアンケート用紙配付の2つの方法で実施しました。新型コロナウイルス感染症防止対策の下、Web回答またはご来館時の利用者アンケートにご協力いただき、皆様には御礼申し上げます。

この度、アンケートの集計結果がまとまりましたので、前年度との比較なども交え、主な項目について結果をお知らせします。

1. 回答者数

132人 (前年度: 142人)

この内 web 回答: 82人 (前年度: 89人)

【本館】 16人 (前年度: 8人)

【分館】 34人 (前年度: 45人)

【本館:web】 72人 (前年度: 67人)

【分館:web】 10人 (前年度: 22人)

2. アンケート集計

(1) 図書館をどの程度利用していますか。

【本館】

選択肢	教職員	院・学部生	その他	計(人)	比率(%)	前年度(%)
ほぼ毎日	1	8	0	9	10.3	5.3
週に2~3日程度	3	25	2	30	34.5	12.0
週に1日程度	0	14	2	16	18.4	21.3
月に2~3日程度	3	7	0	10	11.5	26.7
月に1日程度	0	4	1	5	5.7	8.0
試験期間のみ	0	2	0	2	2.3	0.0
ほとんど利用しない	1	10	1	12	13.8	24.0
その他	1	1	1	3	3.4	2.7

【分館】

選択肢	教職員	院・学部生	その他	計(人)	比率(%)	前年度(%)
ほぼ毎日	0	0	0	0	0.0	0.0
週に2~3日程度	1	4	0	5	11.4	7.5
週に1日程度	1	6	0	7	15.9	10.4
月に2~3日程度	3	9	0	12	27.3	26.9
月に1日程度	2	5	0	7	15.9	20.9
試験期間のみ	0	3	0	3	6.8	3.0
ほとんど利用しない	0	9	0	9	20.5	22.4
その他	0	0	1	1	2.3	9.0

・本館では、前年度と比べると「ほぼ毎日」が倍増、「週に2~3日程度」が3倍弱の増加、対して「ほとんど利用しない」は半分近くの減少となっています。他の選択肢も併せてみると全体的に利用度合いの低い選択肢から高い選択肢へシフトしているように見えます。

・分館では、「ほぼ毎日」が前年度に引き続き0%となっていますが、「ほとんど利用しない」や「月に1日程度」が減少した分、「週に1日程度」や「週に2~3日程度」が増加するなど、やはり利用度合いが高い方へシフトしているように見えます。

・これらのことから、本館および分館ともに前年度よりも図書館の利用頻度が高くなっていることが分かりました。

・前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止対策による授業形態のために登学者に限られる中、図書館の利用者も多くはありませんでした。しかしながら、今年度後期から対面授業が多く開始されたことにより、利用者数もある程度は回復してきています。

・今後も新型コロナウイルス感染症による影響は予測し難いところではありますが、予防対策を整えつつ、皆さんに安心して利用いただける図書館を目指します。



(2) 図書館資料のうち、次のどれを充実すべきだと思いますか。〈複数回答〉

【本館】 回答者数: 83人

項目	回答数	比率(%)	前年度(%)
専門図書	36	43.4	47.8
教養図書	34	41.0	47.8
文庫本・新書本	26	31.3	26.1
資格取得関連図書	22	26.5	24.6
参考図書	21	25.3	2.9
一般雑誌	12	14.5	11.6
電子ブック	12	14.5	10.1
外国学術雑誌	10	12.0	7.2
シラバス掲載図書	9	10.8	7.2
データベース	9	10.8	15.9
視聴覚資料	6	7.2	2.9
国内学術雑誌	5	6.0	7.2
電子ジャーナル	4	4.8	10.1
新聞	4	4.8	2.9
その他	2	2.4	2.9

【分館】 回答者数: 42人

項目	回答数	比率(%)	前年度(%)
専門図書	36	85.7	43.5
教養図書	18	42.9	37.7
参考図書	12	28.6	14.5
文庫本・新書本	11	26.2	29.0
一般雑誌	9	21.4	8.7
資格取得関連図書	7	16.7	7.2
電子ジャーナル	4	9.5	10.1
シラバス掲載図書	4	9.5	8.7
データベース	3	7.1	5.8
視聴覚資料	2	4.8	2.9
外国学術雑誌	2	4.8	2.9
電子ブック	2	4.8	11.6
国内学術雑誌	1	2.4	5.8
その他	1	2.4	0.0
新聞	0	0.0	1.4

・前年度に続き、本館と分館で共通して、上位2項目の「専門図書」「教養図書」の資料充実を望む割合が多くなっています。

・前年度は上位3番目も本館と分館で共通だった「文庫本・新書本」が、分館では4番目でした。3番目は「参考図書」で、回答比率も前年度から2倍近い数値となっています。本館においても「参考図書」が大幅な増加となっています。

・これらの変動について、一昨年度では逆の現象がみられました。

・これらのアンケート結果を参考として、今後の選書対象へ反映させていただきます。



※左記表は回答数・比率の多い数値順となっています

(3) 図書館の環境についてどう思われますか。

良い：3点、普通：2点、悪い：1点として平均点を算出しました。

項目	本館	前年度	分館	前年度
資料の配置	2.6	2.4	2.7	2.5
閲覧席	2.5	2.4	2.7	2.6
案内表示	2.5	2.4	2.5	2.6
静寂性	2.8	2.6	2.8	2.7
視聴覚設備	2.4	2.3	2.3	2.4
パソコン設備	2.3	2.2	2.4	2.5
ラーニング・コモンズ(本館のみ)	2.3	2.4	2.6	2.4
環境全般	2.5	2.5	2.6	2.7

- ・概ね、前年度と同様の傾向と若干高い評価をいただいています。
- ・特に「静寂性」は本館・分館共に高い評価を得ることができています。これは前年度と同様に、新型コロナウイルス感染症対策による利用制限が影響していると思われます。
- ・「パソコン設備」と分館の「視聴覚設備」については、良好とはいえない評価をいただいております。図書館内のパソコンは主な使用目的を蔵書検索としているため、高い性能を求めず最新ではない機種を使用していることが一つの要因ではないかと考えられます。また、特に分館においては設置できる場所が限られるため、機器を多く設置できない状態です。対応できる策が無いが、よりよい環境を整えられるよう努力を続けます。

(4) 図書館の企画展示（特定のテーマの図書の展示）についてどう思いますか。

項目	本館 比率(%)	分館 比率(%)
関心(興味)がある	59.8	52.3
あまり関心(興味)はない	31.0	22.7
企画展示は見たことがない	9.2	25.0

- ・本館では「関心(興味)がある」が前年度の50%より10%近く増加し、「企画展示は見たことがない」は22.2%から大幅に減少しています。分館も同様で、「関心(興味)がある」が前年度の40%より10%を超える増加があり、「企画展示は見たことがない」は29.2%から5%近い減少がみられます。そしていずれの館でも「あまり関心(興味)がない」は前年度より5~8%減少しています。これらのことから図書館の企画展示について少しずつ関心が高まっているようです。企画展示は、社会の話題や皆様のニーズなどに合うテーマを選び、さらに工夫を重ねていきたいと考えています。

(5) 図書館イベント活動等についてご記入ください。

a：関心（興味）がある b：あまり関心（興味）はない c：知らない

項目	本館 比率(%)			分館 比率(%)		
	a	b	c	a	b	c
摂大文化大賞	18.2	43.2	38.6	18.6	18.6	62.8
ビブリオバトル	9.1	59.1	31.8	11.4	25.0	63.6
マイ・フェイバリット・ブックス	14.8	34.1	51.1	11.6	14.0	74.4
選書フェア	35.2	28.4	36.4	27.3	20.5	52.3
図書館学生サポーター活動	15.9	36.4	47.7	6.8	15.9	77.3
読書ラリーYOMOCA	13.6	29.5	56.8	29.5	9.1	61.4

- ・図書館イベント活動等では、「あまり関心(興味)はない」と「知らない」が比較的多く、まだまだ図書館イベント活動等のことが知られていないようです。摂大文化大賞についても同じ傾向ですが、今年度は例年より多くの応募があったという状況もみられました。認知が広がればもっと多くの応募が集まる可能性を見出せました。各種イベントや関連情報の発信方法を見直すなど、より一層工夫し、認知度を上げるように努めていきます。
- ・図書館イベント活動等に参加している学生は、とても生き生きとしています。想像力や表現力を伸ばし試す場として、ぜひ図書館イベント活動等に参加してみてください。

(6) 図書館のお知らせやサービス内容を主に何で知りますか。〈複数回答〉

【回答者数】本館：88人 分館：44人

項目	本館回答数	比率(%)	前年度(%)	分館回答数	比率(%)	前年度(%)
ホームページ	42	47.7	84.2	19	43.2	71.4
Library Guide[冊子]	3	3.4	1.8	0	0.0	0.0
館内のパンフレット	6	6.8	14.0	4	9.1	5.4
館内の掲示	46	52.3	14.0	10	22.7	17.9
館外の掲示	15	17.0	1.8	4	9.1	3.6
図書館スタッフ	6	6.8	3.5	7	15.9	17.9
友人	9	10.2	7.0	6	13.6	3.6
その他	6	6.8	3.5	5	11.4	1.8

- ・図書館のお知らせやサービス内容の情報源として、前年度は本館・分館ともに「ホームページ」が高比率でしたが、今年度は「館内の掲示」「館外の掲示」が増えており、特に本館は顕著です。これは図書館掲示物の更新をこまめに行ったことと掲示場所を広げたことが影響していると考えられます。
- ・このほか図書館では、掲示とともに摂大図書館ポータルサイトのメッセージ機能を利用して図書館情報や各種の案内を随時発信しています。常にチェックし、興味ある案内や情報がありましたらぜひ図書館へお越しください。
- ・Library Guide [冊子]も摂大図書館ポータルサイトのトップページからいつでも閲覧できます。

(7) 次の目的で図書館を利用する場合、利用環境はどうですか。

良い：3点、普通：2点、悪い：1点として平均点を算出しました。

項目	本館平均	前年度	分館平均	前年度
レポート作成	2.6	2.4	2.8	2.6
自学、自習	2.7	2.5	2.8	2.7
グループ学習	2.0	2.2	1.9	2.2
図書閲覧	2.5	2.3	2.8	2.7
雑誌・新聞閲覧	2.3	2.3	2.8	2.5
視聴覚資料鑑賞	2.2	2.2	2.4	2.4

- ・本館では「グループ学習」のみ評価が下がり、その他は2項目を除いてそれぞれ0.2ポイント評価を上げています。
- ・分館も「グループ学習」の評価が下がっていますが「視聴覚資料鑑賞」以外は全て2.8ポイントと、高評価となっています。
- ・これらの結果は、新型コロナウイルス感染症対策による利用制限によるものかも知れません。図書館内では3密を避けるために席を間引くなどの措置を行っています。これがグループ学習を困難にさせ、逆に学習環境や読書環境の改善につながっているのかも知れません。

(8) 図書館スタッフの対応についてどう思われますか。

項目	良い(%)	普通(%)	悪い(%)
本館	75.9	21.7	2.4
分館	88.6	11.4	0.0

- ・本館、分館とも「良い」または「普通」と概ね良好な評価をいただくことができました。ただし、分館は「良い」が88.6%という多数の評価と「悪い」評価が0%なのに対して、本館は「悪い」評価もいただいている結果となっています。
- ・反省も踏まえながら図書館サービスの向上に努めてまいりますので、今後も引き続き皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

図書館利用統計

図書館ではより良い図書館運営のために利用状況の調査、アンケートの実施などを行っています。
ここでは、2021年度（12月末まで）の利用状況と、学部別貸出冊数等について報告します。

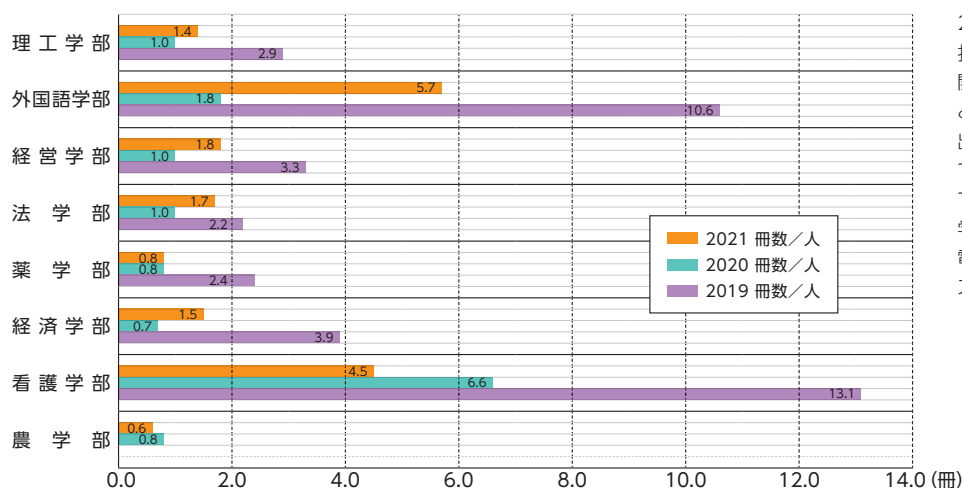
図書館利用状況（2021年度[12月末まで] ※ 2019・2020年度は年間参考）

区分		本館	分館	計
開館日数	2021年度	215日	218日	—
	2020年度	248日	269日	—
	2019年度	280日	287日	—
入館者数	2021年度	61,301人	8,110人	69,411人
	2020年度	20,903人	7,418人	28,321人
	2019年度	221,345人	56,450人	277,795人
貸出者数	2021年度	8,856人	2,116人	10,972人
	2020年度	4,933人	2,467人	7,400人
	2019年度	18,245人	4,790人	23,035人
貸出冊数	2021年度	18,068冊	5,001冊	23,069冊
	2020年度	11,137冊	6,207冊	17,344冊
	2019年度	35,504冊	10,798冊	46,302冊



2021年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、対面授業が再開されたことで、12月末時点の入館者数は、対前年度比で245%という状況です。引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を継続しながら利用者ニーズを的確に把握し、図書館サービスの充実に努めてまいります。

学部別 1人当たり貸出冊数（2021年度[12月末まで] ※ 2019・2020年度は年間参考）



2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した上で、開館日数・開館時間の利用制限を行わず運営したことにより、12月末時点の1人当たりの貸出冊数は戻りつつあります。また、図書館では電子資料の学外からの利用も促進しています。SSL-VPNサービスを利用して学外からでも利用可能なデータベース・電子ブック等がありますので、ぜひアクセスしてみてください。



*対象：
学部生・卒研生

貸出トップ10（2021年度[12月末まで]）[本館]

タイトル / 著者 / 出版社	貸出回数
52 ヘルツのクジラたち / 町田そのこ / 中央公論新社	12
推し、燃ゆ / 宇佐見りん / 河出書房新社	10
オルタナート / 加藤シゲアキ / 新潮社	9
あやうく一生懸命生きてところだった / ハワン文・イラスト / 岡崎暢子訳 / ダイアモンド社	8
スタンフォード式最高の睡眠 / 西野精治 / サンマーク出版	8
スマホ脳 / アンデシュ・ハンセン著 / 久山葉子訳 / 新潮社	8
ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人 = Black showman and the murder in an obscure town / 東野圭吾 / 光文社	8
メモの魔力 = The magic of memos / 前田裕二 / 幻冬舎	8
嫌われる勇気 / 岸見一郎, 古賀史健 / ダイアモンド社	8
お探し物は図書室まで / 青山美智子 / ポプラ社	8
たかが殺人じゃないか: 昭和24年の推理小説 / 辻真先 / 東京創元社	8
消費者心理学 / 山田一成, 池内裕美編著 / 勁草書房	8

*資格・就職・TOEIC関連本、リーディングラウンジの本を除く

2021年本屋大賞の大賞受賞作品が1位にランクインしました。他にも、本屋大賞ノミネート作品は例年貸出上位にランクインしています。また、「スマホ脳」、「メモの魔力」など、メディアで話題になった本が多く借りられました。

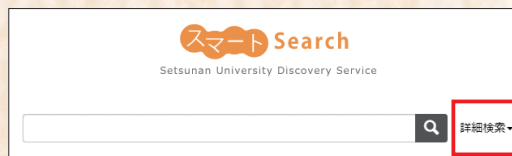


サービスの紹介

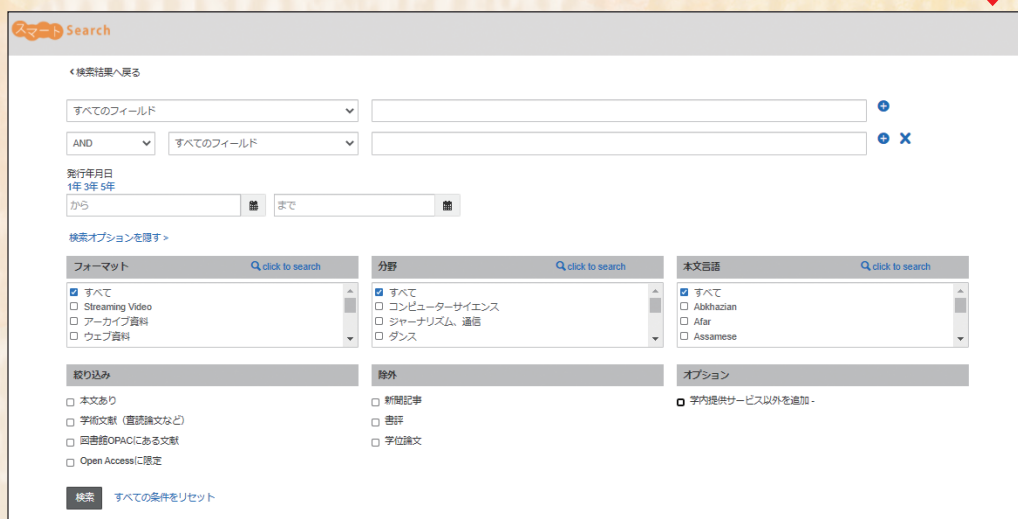
図書館では、オンラインで利用できる多くの電子資料を契約しています。
 そのなかのひとつである資料検索機能の便利な使い方や、
 学外からもアクセス可能な電子資料の利用について簡単にご紹介します。
 「検索達人」を目指して、より良い学修・研究の成果につなげられるよう、図書館でも応援します。

Summon「スマートSearch」

「スマートSearch」は、サーチボックスにキーワードを入力するだけで、図書館の所蔵資料、電子ジャーナル、機関リポジトリ、オープンアクセス誌を簡単に探し出すことを可能にした新しいサービスです。「どのデータベースを使えばいいかわからない」「とりあえず論文を探したい」、こんな時にお薦めです。



詳細検索画面へ



Maruzen eBook Library

学術情報に特化した電子書籍を提供する、学術・研究機関向け電子書籍配信サービスです。学修・研究でのご利用に便利な検索・閲覧機能が充実しています。

リモートアクセスの利用登録をすると、学内に限らず、自宅や外出先など、いつでもどこからでも自由にアクセスすることが可能になります。



2021年度「摂大文化大賞」受賞作品発表！

図書館では毎年、学生の文化的創作意欲を奨励するため「摂大文化大賞」を設け作品を募集し、優秀な作品を表彰しています。今年度は4部門、計22点の作品応募があり、受賞発表および表彰式を12月22日(水)に図書館本館1階ラーニング・commonsで実施しました。

厳正な審査の結果、大賞には、井上 渚さん(外国語学部外国語学科2年)の美術・工芸作品「交錯」が選ばれ、この他8作品が部門賞などを受賞し、小山図書館長から表彰状と副賞が授与されました。

受賞作品

部門・賞	作品名	作者(敬称略)
大賞	交錯	外国語学部 井上 渚
文芸部門・優秀賞	20歳女子大学生のK-POP研究室 ～古家オッパの見たK-POP～	外国語学部 大谷 かずよ(代表)
文芸部門・準優秀賞	雨夜の月	経済学部 星山 秋(ペンネーム)
美術・工芸部門・優秀賞	▼select your way	外国語学部 山内 真由
美術・工芸部門・優秀賞	ヒト科ヒト属ワタシ	外国語学部 江口 貴美子
写真部門・優秀賞	家で夏祭り	外国語学部 渡邊 華奈子
写真部門・準優秀賞	一期一会 ～湖畔の朝焼け～	理工学研究科 小串 祥子
審査員特別賞	私	外国語学部 熊代 百花
審査員特別賞	収穫	国際言語文化研究科 叢 培磊



大賞受賞の井上さん



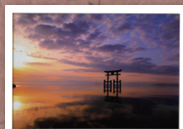
大賞「交錯」



20歳女子大学生の
KPOP 研究室



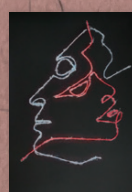
雨夜の月



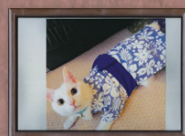
一期一会



▼select your way



ヒト科ヒト属
ワタシ



家で夏祭り



私



収穫



表彰式後の記念撮影

編集後記

今年度前半は昨年度に引き続きコロナ禍の影響で図書館は閑散としていました。しかし緊急事態宣言が解除され、多くの学生諸君がキャンパスへ出てきてくれたことで久しぶりに図書館らしさが戻ってきました。しかしながら、コロナ前と比較するとまだまだ元通りではありません。図書館はもともと換気設備が充実しており、3密を避ければ感染対策も一定の水準が保たれます。コロナ対策としての利用制限がある中、ご不便をかけることもあろうかと思いますが、引き続き利用者サービスの向上に努めていきたいと考えています。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

Smart and Human
摂南大学

「学而」摂南大学図書館報 No.103 2022.3 編集・発行 常翔学園 摂南大学 図書館
本館 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町 17-8 TEL.(072) 839-9111
分館 〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町 45-1 TEL.(072) 866-3102
URL : <https://www.setsunan.ac.jp>